

令和8年度広島平和記念式典派遣事業記録

【第1日目：8月5日（水）】

●広島へ出発

出発日は真夏とは思えないほど涼しい朝でした。午前8時26分鳥山駅発のJR鳥山線に引率の生井校長先生と生徒4名が乗車し、事業がスタートしました。大金駅にて南那須中学校の生徒4名が合流し、宇都宮駅に向かいました。

宇都宮駅に到着し、新幹線の乗車待ちの時間を利用し出発式を行いました。生井校長先生から派遣の代表生徒としての心構えや体調面に注意するように説明がありました。生徒たちは校長先生のお話を真剣な面持ちで聞き、期待で胸がいっぱいな様子でした。



宇都宮駅を9時58分に出発し、東京駅を経由して15時02分に広島に到着しました。約4時間の長い移動でしたが、生徒たちは学校の垣根を越えて会話するなど、終始楽しげな様子でした。

●タクシーでホテルに移動

広島駅からホテルに向かい、キャリーケースなどを預けました。今年度は平和記念公園まで徒歩2分と好立地のホテルに宿泊することができたため、かなり余裕を持って平和記念公園見学に向かうことができました。

●平和記念公園見学

16時から平和記念公園を見学するため、記念公園入口で現地ガイドさんと合流し、公園内を案内していただきました。最初に「原爆死没者慰霊碑」まで移動し、説明をしていただきました。公園内の厳粛な雰囲気には生徒たちは緊張した様子でしたが、真剣にガイドさんの説明に耳を傾けていました。「祈りの像」「平和の灯」「原爆の子の像」「原爆ドーム」など公園内を見学し、「原爆の子の像」では、南那須中学校の生徒が持参した千羽鶴を奉納しました。栃木県内とは違い、広島市内は息苦しいような暑さでしたが、ガイドさんが日陰を選んで説明してくださったおかげで熱中症になる生徒はいませんでした。



●広島栃木県人会のお話

現地ガイドさんの説明が終わり、17時過ぎにホテルに戻りました。広島栃木県人会の副会長さんが那須烏山市のご出身というご縁があり、ホテルの食事会場をお借りしてご挨拶いただきました。

原爆の惨状から復興した広島の街の凄さ、平和記念式典に那須烏山市の代表としての自覚を持って参加してほしいとお話をいただきました。短い時間でしたが、同郷の広島栃木県人会の副会長さんのお話を終始、和やかな雰囲気の中で聞いていました。



●夕食

ホテルで少しの間休憩し、夕食会場の「お好み焼き 壱」に徒歩で向かいしました。生徒たちは平和記念公園内の見学でお腹が減っていたようですが、予想を上回るボリューム満点のお好み焼きを食べるのに苦戦している生徒もいました。また、お好み焼きを食べるのが初めてという生徒もあり、和やかな雰囲気の中で食事を堪能しました。



●ホテルマイステイズ広島平和公園前

食事を終えてホテルに戻り、添乗員の山田さんから翌日に集合時間等の諸連絡を受け、解散しました。

【第2日目：8月6日（木）】

●平和記念式典参列

5時30分から朝食をとり、6時30分に徒歩で平和記念公園に向け、ホテルを出発しました。受付と荷物検査を済ませ、自治体席に移動しました。8時に式典が始まり、原爆死没者名簿奉納、広島市議会議長による式辞、献花、黙とう・平和の鐘、広島市長の平和宣言、こども代表の平和への誓い、内閣総理大臣などによるあいさつ、ひろしま平和の歌の順番に式典は進められました。

広島市長による平和宣言の中で若い世代への提案として「価値観の異なる人々との国境を越えた交流を深めてほしい」というメッセージがありました。原爆を知る世代が年々少なくなっているこの時代に、世界中の若い世代が手を取り合って交流することこそが世界平和への近道ではないかと考えました。



●全国こども平和サミット参加

約1時間の式典が終わり、続いて生徒たちは10時から広島国際会議場で行われた「全国こども平和サミット」に参加しました。

平和サミットでは、実際に被爆した方の被爆体験を聞いた後、被爆体験記・被爆詩の朗読を聞きました。その場にいた方のお話を直接聞くことで、当時がどれだけ凄惨な状況であったかを理解し、平和な世界が当たり前ではないということを再認識しました。また、中高生による平和への取組の発表を聞き、同年代の生徒たちが平和な世界の実現に向け、活動していることは生徒たちにとって良い刺激となったと思います。



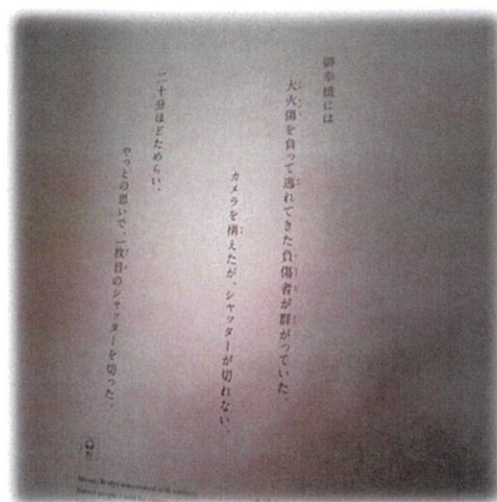
●昼食

広島国際会議場から徒歩10分ほどの場所にあるホテルメルパルク広島で、カレーをいただきました。生徒たちは夏野菜がたっぷり入ったカレーを涼しい室内で食べ、午後の資料館見学に備えて体力を回復していました。



●平和記念資料館

昼食後は、平和記念公園内にある平和記念資料館を見学しました。平和記念式典後ということもあり、資料館内は大変混雑していました。順路に沿って進んでいくと、CGによって映し出された広島市内の映像に、原爆が落とされ一瞬にして跡形もなくなってしまう光景を見たときは声も出ないほどその世界に入り込んでしまいました。先に進んでいくと、被爆時の絵や被爆当時の遺品などが展示されており、当時の凄惨な状況を物語っていました。時間に余裕ができたため、見学の時間を多くとりましたが、生徒たちは時間を十分に使ってじっくりと見学していました。



●ホテルマイステイズ広島平和公園前

早朝からの活動だったため、体調を考慮し夕食前にホテルで休息を取ってから夕食会場に向かうこととしました。

●夕食

ホテルから夕食会場の「エビスキッチン」まで路面電車で移動しました。

早朝から活動してお腹が空いている生徒たちは、次々と運ばれてくる料理に舌鼓を打っていました。さらに店員さんのご厚意でデザートをサービスしていただき、今日の振り返りをしながらデザートを堪能していました。



●ホテルマイステイズ広島平和公園前

食事を終えてホテルに戻り、添乗員の山田さんから翌日に集合時間等の諸連絡を受け、解散しました。

【第3日目：8月7日（金）】

●帰路

8時30分にホテルを出発し、タクシーで広島駅まで移動しました。生徒たちと相談し、予定よりも早く広島駅に向かい、お土産を購入する時間を多く取ることになりました。生徒たちはそれぞれ家族や友人へのお土産を選ぶことに夢中になっており、あっという間に新幹線に乗る時間となってしまいました。

広島駅から11時18分の発の新幹線に乗り、広島を後にしました。車内でお弁当を食べ終えた後も生徒たちは疲れを見せず、思い出話に花を咲かせていました。東京駅、宇都宮駅で乗り換えをし、大金駅に17時20分、烏山駅には17時34分に到着し、今回の派遣事業を無事に終えることができました。

●終わりに

今回派遣された生徒たちは自分たちの意見をしっかりと持ち、派遣事業の目的を理解して、自分たちで行動できる生徒たちでした。

今回の広島派遣での経験をそれぞれが学校に持ち帰り、全校生徒に伝える役割となってくれることと思います。また、生徒たちが自分の思い描くステージへと進めることを期待します。

最後に今回の派遣事業のためにご協力いただいた関係各位に感謝を申し上げ、報告といたします。

【事業記録の他、生徒たちの旅の思い出】



